

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[TFTP コマンドの使用](#)

[影響される製品とバージョン](#)

[その他の情報](#)

[オペレーティング システム](#)

[設定のアップロードとダウンロード](#)

[関連情報](#)

概要

ワークステーションの TFTP は、デバイスにオペレーティング システムをダウンロードするため、または、設定をデバイスにアップロード/ダウンロードするために使用できます。

注TFTP は、NAT 経由で機能しません。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

TFTP コマンドの使用

ワークステーションの TFTP は、デバイスにオペレーティング システムをダウンロードするため、または、設定をデバイスにアップロード/ダウンロードするために使用できます。

注TFTP は、NAT 経由で機能しません。

影響される製品とバージョン

この製品	2200R	3000E	IntraPort 1
------	-------	-------	-------------

1200i	2220R	4000S	IntraPort 2
1220i	2250R	VSR-2	IntraPort 2+
1250i	2270R	VSR-8	IntraPort Enterprise-2
1270i	3500R		IntraPort Enterprise-8
2600i	3800R		IntraPort Carrier-2
2900i			IntraPort Carrier-8

Affected Versions

すべてのバージョン

[その他の情報](#)

TFTP (Trivial File Transfer Protocol) は、Win95/98 オペレーティング システムの一部ではありませんが、NT および UNIX プラットフォームで見つかる場合があります。

互換性のあるデバイスで TFTP を使用するには、最初に telnet でデバイスに接続し、特定のワークステーションから TFTP で接続できることを知らせる必要があります。コマンドの構文は以下のとおりです。

TFTP を使用しようとしている同じワークステーションから telnet で接続する場合、IP アドレスオプションは不要です。この場合のコマンドの例を、次に示します。

開始するまでに 10,000 秒の時間を確保し、アップロード/ダウンロードを完了します。

[オペレーティング システム](#)

互換性のあるデバイスにコードをダウンロードするために使用する Windows NT ワークステーションでの構文は、次のとおりです。

ここでは、「-i」でバイナリ モードに設定し、m12045.dld というコード (この場合は MR1200i の v4.5 コード) を、IP アドレス 198.41.12.1 のデバイスに入れます。

UNIX コマンドも同様です。

ワークステーション固有の TFTP 構文を使用するために、ワークステーションのヘルプ ファイルを常に確認できます。

[設定のアップロードとダウンロード](#)

コンフィギュレーション ファイルの転送は同様ですが、バイナリ モードは必要ではありません。

NT ワークステーションを使用して、次のコマンドで設定を「取得」します。

このコマンドで、ルータ 198.41.12.1 の設定が取得され、router.txt としてファイルが保存されます。

NT ワークステーションを使用して、次のコマンドで設定を「配置」します。

このコマンドで、MR1200i デバイスに設定 router.txt が送信されます。「MR1200i.cfg」という名前は、MR1200i がその設定として受け入れる唯一の設定名です。

デバイスの正しい名前は、次の例のようなテスト ダウンロードを試みることで特定できます。

この場合、エラーによって、正しい「.cfg」ファイル名「Intraport2.cfg」がわかります。したがって、このデバイスは Intraport2 であることがわかり、これが機能するように、tftp コマンドを次のように書き換えます。

注転送に成功した場合は、ワークステーションが、転送の成功と、統計情報をダウンロードできることを応答します。転送が成功しなかった場合は、タイムアウトで応答します。いずれの場合も、互換性のあるデバイスが、成功したダウンロードを使用して自動的に再起動します。または、ダウンロードが失敗した場合は、以前のセットアップを使用して再起動します。ダウンロードには、最大で 120 秒かかる場合がありますが、正常に実行されます。tftp コマンドを実行した後は、コマンドが成功するか、失敗するまで、新しいコマンドプロンプトがワークステーションに表示されません。

[関連情報](#)

- [Compatible Systems Corporation レガシー・テクニカル・サポート・ドキュメンテーション](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)